

ジェンダーに 敏感になろう



5月15日 ゆめ会議室で

5月15日、高松市の市民グループ「ジェンダー・ワーク香川」の仁賀順子さん、宮本暢子さんを講師に迎え、平成14年度ゆめネットワークセミナーを行いました。

いつでもどこでも ジェンダー・チェック

セミナーの前半は、ジェンダーとセックスの違い、「女子差別撤廃条約」から「男女共同参画社会基本法」への流れなど、簡潔にまとめられた内容に沿ってジェンダーのおさらいをしました。

後半は手作りの資料による参加型の学習会。4人ずつの班に分かれ、富山市の彫刻公園にある29作品についてジェンダー・チェックをしました。無機質なモニュ



メント風のものを除く20作品中、女性の裸像が15体もあり、「ちょっと変？」という問題提起がありました。

高松市の中央公園にも女性の裸像が数体あるそうです。公園を一回りすると、幼女、少女、乙女と、大人の女性になるにつれて体形が変化していく様子までもうかがえます。

富山の彫刻も高松のものも公の場にあり、公のお金が使われているところが気になります。

ジェンダー・フリーの 声を上げよう

高松市の平和パンフレットの表紙は3人の少女の裸体彫刻で飾られていましたが、ジェンダーの視点からメディアを監視しているグループがそれに反応し、市

に意見を述べました。「どうして平和のパンフレットの表紙が裸の少女なのでしょう」。次の年から表紙には、鳩の彫刻が掲載されるようになったそうです。

今回のセミナーでは、身の回りのことについてジェンダーの視点で敏感になること、そして、気づいた人が声を上げることで、社会が少しずつ変わっていくことを学びました。

参加者の感想は……

- 今日のワークショップは、ふだんは見逃していることに気づく場を提供してくれた。そんなジェンダー・フリーのネットワークがこの香川で活発な活動を展開していることに乾杯！（50歳代・女性）
- 参加型の学習会は初めてだったので楽しかった。芸術と性の商品化という難しい問題を視覚で訴え、分かりやすいと感じました。（50歳代・女性）
- 身の回りのジェンダーに目を向けるようになれそうです。（40歳代・男性）
- ワークショップの学習会はとても楽しく印象に残るものでした。彫刻を並べてみた時に、私（女性）の目から見ると決して感じのいいものではなかったです。でも、こんな風景でも、言われなかったら気づかないのでしょうか。（30歳代・女性）
- 今まで何の疑問も持たなかったこと（常識）って実はつくられたものだということが分かった。ジェンダーについては、ぜひ、あらゆることについて積極的に考えていきたい。特に仕事、家事、育児については私も実践していることなので、これをみんなに伝えていきたい。（20歳代・男性）

観て見て

つい数年前まではほとんど知られていなかった「ジェンダー・フリー」ですが、今はインターネットでも検索できます。「ジェンダー・ワーク香川」のホームページ「生まれたときから ジェンダー・フリー」も毎日100人近い人が閲覧しているそうです。
〈アドレス〉<http://www7.wisnet.ne.jp/~gender/>

トピックス 「香川県女性友好の翼」に参加して

まるがめ娑婆羅大使 片山弘子さん



右から2人目が片山さん

女性友好の翼の研修（5月18日～27日）の旅から帰国後、留守中にたまたま新聞を見ていて、イギリスの諜報機関内務省情報局保安部に女性部長が誕生するという記事があった。洋画の格好いパイ映画などでしか見たことがないが、その部長は多くの男性の部下を持つであろう。さすが先進国だと感心した。

今度の研修の旅でもストックホルム市を訪ねた時、天井がパイキングの舟底のようになった市議会議場を見学し、101名の議員のうち、女性が51名と聞いて驚いた。でもそれは、選挙の方法が比例代表制で党を選び、その党の優先順位が男女交互になっているとのこと。それならば納得できた。

でも今、日本でそれほど多くの女性たちが選挙に立候補するのだろうか。これは相当がんばらなくては……。いろいろ考えさせられた旅でした。

ゆめの部屋 活動中

5/7 ウイングレ ビデオ学習会

ゆめ会議室にあるビデオを利用して、学習会を開催しました。この日選んだのは、『根絶！夫からの暴力(内閣府編)』と『私を柴刈りに連れてって(「さんかく岡山」条例普及グループ編)』の2本。

前者は、DV(ドメスティック・バイオレンス)防止を訴えるものです。今、国内では約20人に一人の女性が、命の危険を感じるくらいの暴行を受けたことがあるそうです。被害を受けたら、勇気を持って相談することが大切です。

後者は、岡山市が策定した「岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例」を、市民グループが普及させようとしたビデオです。条例をまちづくりに生かそうとする岡山市民の熱意が伝わってくるものでした。

とにかく、私たちにできることは、小さいことからでも声を上げて、実践していくことでしょうか。



5/19 まちづくりグループ まるみな

フリートーク これって文化？これって伝統？

お城まつりでにぎわう「まなびらんど」ですので、男性の飛び入り参加も多く、途中市長や市議も加わり、おしゃべりの輪が広がりました。入り口に張り出したチラシに「男女共同参画」の文字を見つけて、「怖そうや！」って退散する声にびっくりしましたが、当初のテーマ以外にも教育やボランティアの話題も出て、時間がたつのを忘れ、楽しめました。

ジェンダーという堅い、小難しい話と誤解されがちですが、私たちの身近な日常の話題なのです。暮らしの中の当たり前のことを改めて考えてみると、不思議やへんが見えてきます。みんなで話して気づいたことで、もっともっと素敵な丸亀に変わろうと、元気が出てきました。



ゆめネットワークに新メンバー

丸亀「地球村」 をよろしく

「地球村」とは、国連などが提唱している「地球と調和する社会(Earth Village)」のことです。ネットワーク「地球村」は、環境と平和のNPO(非営利団体)として、1991年に設立されました。

全国に約200の地域地球村があり、丸亀「地球村」は地域地球村の一つです。年齢、性別、職業、思想などを超えて、私たち市民が手をつなぐことで、地域から社会を変えていくことを目指しています。主な活動には、月1、2回のミーティング、講演会、アフガン支援基金活動などがあります。